



さくらが丘

153号

令和7年12月24日発行
松崎小学校 PTA 広報部



さくらが丘フェスティバル 令和7年11月22日(土)

【児童代表あいさつ】

【4・5・6年 鼓笛演奏 校歌】



1年 「みんなちがってみんないい」

けんぱんハーモニカをまちがえずにふけたのがうれしかったし、みてくれてうれしかった。らい年もがんばりたいです。

(中川 るあ)



【お家の方から】

初めてのさくらが丘フェスティバルだったけど、みんな恥ずかしがったりせず大きな声でセリフを言ったり演技することができていて、たくさん練習したのだろうなと感じました。キラキラ星の鍵盤ハーモニカ演奏は、移調して演奏したり輪奏したりしていろいろなパターンのキラキラ星を楽しみながら聴くことができました。

(田尾 祐子)

2年 「ニャーゴ ～town tour 編～」

今日は、さくらが丘フェスティバルで「ニャーゴ タウンツアーへん」をしました。ぼくは、ねずみやくでした。きんちょうしたけどまちがえずに大きな声で言えました。来年もがんばりたいです。

(詫間 晴生)



【お家の方から】

2年生が発表した「ニャーゴ」は私自身小学校の時に習い懐かしく、かつ町探検の要素が加わり面白かったです。1年前と比べ、更に成長した姿に心を打たれました。「ともに」と言う歌は子どもたちと先生と一緒に過ごした日々大切さを感じ、これから先成長していく子どもたちへの思いも込められているように感じ、感動しました。

(久保 莉奈)

3年 「学びの神様 ～自分を変えるのは自分～」

ぼくがさくらが丘フェスティバルでがんばったことは2つあります。1つ目は「速さ」です。聞こえやすいように大きな声でゆっくりと言いました。2つ目は「しせい」です。自分がしゃべっている時がいはい、目をまっすぐにしていいしいいでいたと思います。来年がんばりたいことは「動き」です。もうすこし「動き」をふやしたいです。



【お家の方から】

3回目のさくらが丘フェスティバル、1年生や2年生の時とは違った堂々とした姿に感動し、16人の夢を語る姿に涙が出ました。どんな環境におかれても、強い気持ちを持って自分達の夢に向かって頑張ってもらいたいと思いました。「自分を変えるのは自分！」頑張れ！3年生16人！

(西山 かおり)

4年 「プロジェクト3 - 香川の偉人たち - 」

「松崎念仏おどり」の衣装作りが大変でした。みんなで切ったり、はったりして工夫しました。ポーズや動きは、打楽器を使って、いろいろなリズムを考えました。アイデアを出し合いながらしたのです。できあがった時は、とび上がるくらいうれしくなりました。こ笛は、練習が少なかったで、うまくできるか心配でした。でも本番では、みんなの心が一つになって上手にできました。

(田尾 唯人)



【お家の方から】

今年の内容は学校や遠足で学んだことを、しっかりとアウトプット出来ていた劇で、見ているこちらでも大変興味深かったです。みんなで力を合わせて練習を頑張ってきたことが感じられました。来年はまたどんな成長を見せてくれるか今から楽しみです。

(詫間 英美)

5年 「世界で一番静かな町が…！」

11月22日にさくらが丘フェスティバルがありました。どの学年のげきも、とても上手でした。私が一番がんばったところは、セリフに動きをつけるところです。このセリフでは、どんな動きをしたらいいのかをとてなやみました。今回のげきは、5年生みんなが一つになれたなと思い、とても楽しかったです。

(宮武 美緒)



【お家の方から】

たった10人で作り上げたとは思えないほどストーリーの展開もスムーズで、劇に見入ってしまいました。5年生はいつもどんなことにも真剣に取り組んでいます。さくらが丘も全員でやりとげていたなあ、また一段とお兄さん・お姉さんらしくなったなあと思いました。今年の6年生のような発表を来年はみんなで作り上げて下さいね。

(宮武 麻美)

6年 「日本の果てまでイッテQ」

みんな、「ここはどんな動きをつけたら良いだろう？」「ここはこれで良いと思う。」などとみんなの意見を取り入れて、セリフや場面に合う、動きを考えました。劇の練習の途中、自分に甘くなり、あきらめてしまうこともあったけど、(みんなのできる最後のさくらが丘。最高の作品にしたい！良い思い出になるようにがんばろう)という思いで頑張りました。スタートは緊張していましたが、エンディングの歌を歌うときは、緊張も解けて笑いながら歌うことができました。みんなと協力することの大変さ、みんなと作り上げた達成感。みんなで活動する大切さを学んだ思い出に残るさくらが丘フェスティバルでした。

(中田 緩乃)



【お家の方から】

小学校最後のさくらが丘フェスティバル。6年生らしい一人ひとりの個性あふれる、元気で、笑いあいの楽しい演技でした。堂々と発表している姿を見て、成長を感じ、感動しました。これからも自分らしく、仲間との絆を大切にしていってほしいと思います。楽しい時間をありがとう。

(中村 綾子)

どの学年も趣向を凝らしオリジナリティのある発表で表現し、楽しませてくれました。子ども達が堂々と演じている姿にたくさん練習をしたからこそ生まれる自信を感じました。歌や演奏も素晴らしく、特に一生懸命な姿には心を打たれます。この経験を通して友達との絆ややり遂げた自信を胸に、これからも大きく羽ばたいてくれることを願います。

(広報部部長 磯野 陽子)

1年生のかわいいところ6年生のおもしろいところ…各学年それぞれの個性が光ったすてきなさくらが丘でした。予行からわずか3日で更にグレードアップしていたのにはとてもおどろきました。すこすこすてきなさくらが丘をありがとうございました。来年も楽しみにしています。

(広報部副部長 中田 洋子)



松崎地区運動会

令和7年5月17日(土)・5月21日(水)

全力 ～耀け松崎98～



だんすのいどうをがんばりました。ぺんぎんりれえおとさないようにがんばったよ。さいごまであきらめないでがんばりました。にっこりがんばりました。(1年 せとめいさ)



ぼくは、「色別対抗リレー」をがんばりました。本番の結果は、予想通り2位でした。ぼくは、アンカーにうまくバトンパスをすることに、いっしょうけんめいでした。見ている人たちのおうえんの声が、聞こえました。それが、すごくはげみになりました。チーム全員が、力を合わせて走りました。走り終えた時は、とっても気持ちよかったです。(4年 詫間大生)



どうぶつにうんどうかいがありました。いっしょうけんめいみんなとれんしゅうしてちからをあわせて、がんばりました。みんなのおとうさん おかあさんがよろこんでくれてうれしかったです。(2年 みやたにまお)



表現で一番がんばったのはフラッグです。大きな音と大きな動きになるようにしました。しっかり曲をきいたり、動きをあわせたりしてきれいにみえるよう工夫しました。組み体そうでは、バランスをとってできるだけゆらさないようにがんばりました。いろいろなわざをおぼえるのがむずかしかったです。(5年 原はるか)



「耀く!!」みんなで声を合わせた時、『全力でやりきろう』と思いました。練習で、ずっと気をつけてきた細かいポイント。最後の最後まで意識して、そこを全力でがんばってきました。ここまでがんばってきたことは、最高の思い出に、きつとなるはずです。だから、「ああ、いやだなあ」、「めんどくさいな」と考えることがあれば、「全力でやりきれば、あの時の運動会のように清々しい気持ちになれる」と思い返します。(6年 田尾すみれ)

5月17日にうんどう会がありました。でも雨天だったので体育館でやりました。雨天ははじめてだったから少しくんちょうしました。でもむずかしかったせんじゅかんのんとウェーブはうまくおどれたのでうれしかったです。来年は晴れてほしいと思っています。(3年 やぶ内ともひと)

【色別対抗】

優勝 赤チーム

準優勝 白・黄チーム

